

第3学年 社会科学学習指導案

1. 小単元名「くらし，おうえん！ 総合スーパーマーケット」

2. 指導観

- 子どもたちは，前小単元「お家の人の買い物調べ」の学習で，保護者が買い物をする際には近さや営業時間などの便利さ，品質や品揃えなど，各家庭によって店を選ぶこだわりがあることに気付いている。また，「近所の店の工夫や努力」の学習では，「魚屋のような個人商店は，商品についていろいろ教えてくれる」「スーパーマーケットは，食べ物ならなんでもそろい，安い」「コンビニエンスストアは，24時間開いていて便利だし，新商品がいっぱいあって楽しい」と，それぞれの特色をとらえている。その上，「どの店も特色はあるが，消費者の願いに応えようとそれぞれの店のやり方で工夫や努力をしている」という共通点にも気付きつつある。

技能・表現面では，調べた内容を簡単に箇条書きでまとめたり，写真や地図を使って自分の気付きの根拠を説明したりできるようになってきている。

- 本小単元「くらし，おうえん！ 総合スーパーマーケット」では，「一度に様々な買い物ができる」「買い物以外の楽しみもある」といった総合スーパーマーケットの特色や，品ぞろえ・品質の良さ・価格・買いやすさといった多方面にわたる消費者の願いに応えようとする店側の工夫や努力をとらえることができる。

本小単元で取り上げる総合スーパーマーケットは，44の専門店が入り，700台の駐車場を備えた店である。また，ここは，1日，およそ1万人近い人が来店する。これらの数は，子どもにとって感動を呼ぶ数である（感動性）。総合スーパーマーケットの特色である専門店や駐車場の多さは，一見してとらえやすい。レジの多さも，一見してとらえやすい買い物のしやすさである。またこの総合スーパーマーケットは，クリーンタイムを設けて衛生管理の取組をしたり，食品の調理を消費者にある程度見える施設で行ったりしている。さらに，車いすの方も買いやすい施設やカード払い・安さをねらったPB商品開発のように多方面にわたる消費者の願いに応える工夫や努力，直接消費者の声を取り上げる工夫や努力がとらえやすい（多面性）。

- 本小単元の指導にあたっては，「見つめる」段階で，「総合スーパーマーケットは，買い物をしない人たちにも気持ちよく来てもらえる工夫や努力しているのでは」という追究の視点をもたせるために，「来客数，およそ1万人」「レジ通過数，およそ5000人」という店側の情報を取り上げる。

「見分ける」段階では，直接消費者の願いをとらえ，それに応えようとする総合スーパーマーケットの工夫や努力に気付かせるために，店舗内にある「お客様の声」コーナーに着目させ，意見内容やそれに対する店側の返事を提示する。

「見極める」段階では，消費者の生活を安全面から支える店の努力を考えさせるために，毎日のように売れ残り商品が出ることを写真で提示し，処理の仕方やその理由をVTRで知らせる。

3. 小単元の目標

- 総合スーパーマーケットで販売活動に携わる人の様子に関心を持ち，見学や調査活動を通して工夫や努力を意欲的に調べ，消費者の願いに応えているかを考えながら追究することができる。（関心・意欲・態度）
- 総合スーパーマーケットで販売活動に携わる人の工夫や努力は，様々な消費者の願いに応えたものであることに気付くことができる。（思考・判断）
- 総合スーパーマーケットで販売活動に携わる人の様子を具体的に観察・調査し，調べた過程や結果を文や写真・図（絵）で分かりやすく表現することができる。（技能・表現）
- 総合スーパーマーケットは，一度に様々な買い物ができたり，買い物以外の楽しみもあつたりするような特色を持ち，そこで仕事をしている人は多方面にわたる消費者の願いに応えようと工夫や努力をしていることをとらえることができる。（知識・理解）

4. 指導計画 (全 11 時間)

□ : ねらい ■ : 手立て

段階	配時	主な学習活動と内容	立ち止まりの場面と教師の支援
<p>子どもを引きつける教材とのあわせ方</p> <p>○各階の様子の写真や駐車場の収容台数を提示する。 ※近所の店とは違う総合スーパーマーケットの大まかな特色に気付かせるため。</p> <p>○「来客数は、1日、およそ1万人」という店側からの情報を知らせる。 ※来客数の多さに課題意識をもたせるため。</p>			
見 つ め る	1 △ 本 時 ▽	<p>1. 本小単元で扱う総合スーパーマーケットと近所の店の違いから学習問題をつくり、予想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広い駐車場がある。 ・ 本屋やアイスクリーム店のような専門店がある。 ・ 1日の来客数、およそ1万人。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><学習問題></p> <p>この総合スーパーマーケットは、どうして、1日、およそ1万人のお客に来てもらえるのだろう。</p> </div> <p>○予想を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここだけで、いろいろな物が買えるから。 ・ 広い駐車場があるから。 ・ お得な買い物ができるから。 <p>○「来店した1万人は、みんなが買い物をしているのだろうか」を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お店だから、みんな買い物をするのではないかな。 ・ ペットショップを見に行くだけの時もあったから。 	<p>○既習経験から知っている情報を出させる。</p> <p>○概観をとらえるため、各階の様子の写真や駐車場の収容台数を提示する。</p> <p>○近所の店との違いを感じさせるために、14番レジにまでお客が並ぶ写真や来客数を提示する。</p>
<p style="text-align: center;">見つめる立ち止まり</p> <p>□ 買い物以外でも来店する人がいることに気付かせるため。</p> <hr style="border: 0.5px dashed black;"/> <p>■ 「1日の来客数1万人の内、レジ通過人数は5000人」という事実を店長の話で知らせる。</p>			
見 分 け る	4 ②	<p>2. 学習計画を立てる。</p> <p>○自分の調べる視点を決め、調べる方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視点=買い物しやすさ、価格、品ぞろえ、品質 ・ 調べ方=店長に聞く、見学、客にインタビュー <p>3. 調べ活動を行い、表現物にまとめる。</p> <p>(1) 総合スーパーマーケットに見学に行き、調べ活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各階の様子 ・ 専門店 ・ サービスカウンター ・ 鮮度保持のための設備や商品管理系の活動 ・ 1つ1つの商品の数や種類の多さ ・ 食料品以外の品ぞろえの多さ ・ 価格を安くした特売品を話し合っ決めて人、PB商品 ・ 買いやすくするための設備や機器を扱う人 <p>(2) 調べたことを表現物にまとめる。</p>	<p>○事前に店長と説明内容を打ち合わせておく。子どもが気付きにくいバックヤードでの仕事については、具体的に話をしてもらう。</p> <p>○写真や図を使って、まとめさせる。</p>

<p>3 ① ① ①</p>	<p>4. 調べた視点ごとに見つけた証拠を出し合い、それが学習問題の答えになるか話し合う。</p> <p>① (1) 「買い物しやすさ」についての工夫や努力を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広い駐車場 ・ 営業時間が9時～21時 ・ 広告 ・ 専門店数 ・ 陳列の仕方や表示 ・ レジの数やバーコード計算 ・ カード払い, ATM ・ ゲームコーナー ・ フードコート ・ ばら売り ・ 返品保証 </p> <p>① (2) 「品ぞろえ」や「価格」についての工夫や努力を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 種類が多い(食糧品以外の物もある) ・ 専門店 ・ 食品は日本各地や外国からも来ている → 地図で確認する ・ PB商品 </p> <p>① (3) 「品質」についての工夫や努力を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備・クリーンタイム(消費期限確認やそうじをする人) ・ 朝取り野菜の人 ・ PB商品 </p> <p>1 △ 本 時 ▽</p> <p>5. 学習問題の答えを話し合う。 (1) 調べたことをもとに、学習問題の答えを話し合う。 ○他店との違い＝総合スーパーマーケットとしての特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設面・・・専門店, フードコート, サービスカウンター エスカレーター・エレベーター, 車いすとそれが通れる通路, 駐車場の大きさ ・ 商品・・・PB商品 ○他店との共通点＝販売活動する人の工夫や努力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者の願いに応えようとしている (2) 店舗内設置している「お客様の声」コーナーについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 価格について消費者の声 ・ 「お客様の声」に対する店側の返事 </p> <div data-bbox="272 1429 1059 1576" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>この総合スーパーマーケットは、いろいろなお客さんが満足できるように工夫や努力をしているから、1日、およそ1万人のお客さんに来てもらえる。</p> </div>	<p>○自分が予想した視点で見つけた工夫や努力を話し合わせる。</p> <p>○PB商品は低価格をねらったこの総合スーパーの仲間だけの商品であることを知らせる。</p> <p>○クリーンタイムの活動については写真で確認する。</p> <p>○学習問題とつなげ、客の願いに応える工夫や努力をしていることに気付かせる。</p> <div data-bbox="1075 1070 1433 1420" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見分ける立ち止まり</p> <p><input type="checkbox"/> 直接消費者の願いをとらえ、それに応えようとする工夫や努力に気付かせるため。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「お客様の声」とそれに対する店側の返事を提示する。</p> </div>
<p>／ 見 極 め る 本 時 ▽</p>	<p>6. 消費者の生活を安全面から支える店側の工夫や努力を話し合う。 (1) 売れ残り商品の処理について考え、話し合う。 (2) 安全性や商品に対する思いなどを考慮した処理の仕方を知り、それに対する考えをもつ。</p>	<p>見極める立ち止まり</p> <p><input type="checkbox"/> 消費者に安全で安心できる商品を提供していることに気付かせるため。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「売れ残り商品」の処理について語るVTRを提示する。</p>

第3学年 本時指導案

「総合スーパーマーケットの特色から、予想をもつ場面」(1/11時)

5. 本時目標

- 専門店の数や駐車場の広さ、来客数から総合スーパーマーケットに関心を持ち、学習問題をつくったり予想をもったりすることができる。(関心・意欲・態度)
- 総合スーパーマーケットの特色をとらえた学習問題の答えの予想をもつことができる。(思考・判断)

6. 本時学習にあたって

前小単元の「近所の店の工夫や努力」の学習までに子どもたちは、「個人商店は、商品についていろいろ教えてくれる」「スーパーマーケットは、食べ物ならなんでもそろい、安い」「コンビニエンスストアは、24時間開いていて便利だし、新商品がたくさんあって楽しい」とそれぞれの特色をとらえている。その上、「それぞれ店の特色はあるが、お客さんの願いに応えるような工夫や努力をしている点では同じ」という共通点にも気付きつつある。また、本小単元で扱う総合スーパーマーケットは〇〇校区に隣接する校区にあるため、8割の子どもたちは行った経験を1度はもっている。

そこで本小単元を「見つめる」本時では、近所の店と違う駐車場の広さや多種にわたる品ぞろえ、来客数の多さに教材として関心をもたせ、そこから「この総合スーパーマーケットは、どうして1日、およそ1万人のお客に来てもらえるのだろうか」という学習問題をつくっていく。また、「買い物をする人のために〇〇のようなことを、買い物をしない人のためにも工夫をしているからではないか」という予想をもつことをねらっている。

そのために、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- 総合スーパーマーケットとしての特色を大まかにとらえるために
 - ・ 近所の店との違いを取り上げる。
 - ・ 駐車場の収容台数を提示する。
 - ・ 各階のおおまかな様子が分かる写真を提示する。
- 「この総合スーパーマーケットは、どうして、1日、およそ1万人のお客に来てもらえるのだろうか。」という学習問題をつくるために
 - ・ 14番レジまで人が並んだ写真を提示する。
 - ・ 「1日の来客数が、およそ1万人」という店長の話を知らせる。
- 来店者の中には買い物をしていない人もいることに立ち止まらせるために
 - ・ 「1日の来客数がおよそ1万人」という店長の話を再度確認し、「店に来ているおよそ1万人の人は、みんな買い物をしているのだろうか」と問いかけ、考えさせる。
 - ・ 「実際に買い物をした人(レジ通過人数)は、1日、およそ5000人」「買い物をしてもらわなくても、まずは気持ちよく来店してもらおう工夫や努力をしていること」を店長の話で知らせる。

7. 本時の展開

□：ねらい ■：手立て

主な学習活動と内容（※教師の支援）	立ち止まりと子どもの姿								
<p>1. 本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて 総合スーパーマーケットを調べる学習問題をつくって、その答えを予想しよう。</p> </div> <p>2. 総合スーパーマーケットと近くの店との違いに気付き、学習問題をつくる。</p> <p>○総合スーパーマーケットと近所の店を比べて、違いを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の広さ ・3階まで店があること ・商品の数や種類の多さ ・専門店の存在 ・レジの多さ（食品売り場だけで14番まで） ・お客さんの多さ <p>※駐車場の収容台数700台をインターネット情報で知らせる。 ※各階のおおよその様子は、写真で確認させる。 ※写真から、レジの多さや客の多さをとらえさせる。 ※「1日の来客数が、およそ1万人」という店側からの情報を知らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈学習問題〉</p> <p>この総合スーパーマーケットは、どうして、1日、およそ1万人のお客に来てもらえるのだろう。</p> </div> <p>3. 答えの予想を考え、話し合う。</p> <p>(1) 自分なりの予想を書き、話し合う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">買いやすさ</th> <th style="width: 25%;">品ぞろえ</th> <th style="width: 25%;">お得なこと</th> <th style="width: 25%;">品物のよさ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駐車場が広い 駐車場が3つもある</td> <td>いろいろな物 (食べ物・服・本・ゲーム) 数が多い</td> <td>安い 特売日 買い物した時のポイント</td> <td>他の店にない物</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 「来ている1万人の人がみんな買い物をするのか」考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1万人、みんな買い物をしているのでは →店は買い物をする所だから ・見ているだけの人もいるのでは ・買い物以外のことをするために来ているのでは <p>(3) 店長の話から、買い物をした人の数（レジ通過数）とその人たちのことも考えに入れて工夫や努力をしていることを知る。</p> <p>4. 「今日の学習で」を書く。</p> <p>○買い物をする人や買い物をしない人に目を向けて書く。</p>	買いやすさ	品ぞろえ	お得なこと	品物のよさ	駐車場が広い 駐車場が3つもある	いろいろな物 (食べ物・服・本・ゲーム) 数が多い	安い 特売日 買い物した時のポイント	他の店にない物	<p>立ち止まりと子どもの姿</p> <p>○駐車場が広いよ。 ○屋上にも駐車場があるよ。 ○服とかノートとか、いろいろな物を売っている。 ○本屋もある。アイスクリーム店も。 ○レジが14番までである！ ○1万人！？ ○どうして、そんなにたくさん来るのかな？</p> <p>○いろいろな店があつて、1度にいろいろな物が買えるから、たくさんのお客さんが来ると思う。 ○駐車場が広くて、車を簡単に止められるから、たくさんのお客さんが来ると思う。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">見つめる立ち止まり</p> <p>□買い物以外でも来店する人がいることに気付かせるため。</p> <p>■「1万人は、みんな買い物をしているのだろうか」と問いかけたり、「レジ通過人数はおよそ5000人」という店長の話を知らせたりする。</p> </div> <p>○買い物をする人のためには、買いやすい工夫をしたり、買い物をしない人のためにも楽しい工夫をしたりしているのではないかな。</p>
買いやすさ	品ぞろえ	お得なこと	品物のよさ						
駐車場が広い 駐車場が3つもある	いろいろな物 (食べ物・服・本・ゲーム) 数が多い	安い 特売日 買い物した時のポイント	他の店にない物						

第3学年 本時指導案

『お客様の声』の対応から、店の工夫や努力について見分ける場面（10/11時）

5. 本時目標

- 総合スーパーマーケットは、商品の品数や品質などだけでなく、消費者のニーズを捉え、応える工夫や努力をしていることについて考えることができる。（思考・判断）
- 客の多様な願いに応えようとする総合スーパーマーケットの工夫や努力について、調べてわかった事実や資料を根拠に発表することができる。（技能・表現）

6. 本時学習にあたって

大単元「暮らしを支えるまちで働く人々」の学習で、子どもたちは、まず、「家の人の買い物調べ」から消費者の願いを、次に「近所の店の工夫や努力」では、スーパーマーケット・個人商店・コンビニエンスストアのそれぞれの工夫や努力についてとらえた。半数近くの子どもが、消費者の願いと店で働く人の工夫や努力は一致することに気付いている。本時は、「総合スーパーマーケットの工夫や努力」についてのまとめを行うと同時に、大単元の総まとめの時間と位置付け、それぞれの店の特色をとらえさせ、どの形態の店も客の要望に応える工夫や努力をしているという、子どもたちの気付きをより実感を伴うものにした。

前時までに、学習問題「総合スーパーマーケットは、どうして、1日におよそ1万人ものお客に来てもらえるのだろう。」をつかみ、これまでの学習を生かし、消費者の願いとスーパーマーケット等の店の工夫や努力を踏まえ、見学などを通して追究してきた。分かったことを整理した表現物を用いて考えを交流し、総合スーパーマーケットで働く人が消費者の願いに応えるために品質、品ぞろえ、価格や施設などの点から様々な工夫や努力を行っていることについて気付きつつある。しかし、それらの気付きは実感を伴うものではない。又、これまでに様々な形態の店について追究してきたことから、それらの店の特色を整理しなおし、とらえさせたい。

そこで本時では、様々な形態の店について、その特色をとらえると共に、総合スーパーマーケットは、商品の品数や品質などに加え、消費者により高い満足度を提供するために、消費者の生の声を聞こうとしていること、それらの声（要望）に対して、真摯に向き合い、応えるために工夫や努力をしていることについて考えさせることをねらっている。

そのために、次のような手立てを取りながら学習を展開していく。

- 総合スーパーマーケットの特色を捉えさせるために
 - ・ 前単元までの学習を振り返る。
 - ・ 近所のお店と総合スーパーマーケットとの相違点を調べる。
- 「お店の人はお客さんが買い物しやすいように工夫や努力をしている」ことを共通理解させるために
 - ・ 消費者の願いといろいろな店で働く人の工夫や努力を照らし合わせる。
- 客の要望に応えようと真摯に向き合う店の人の姿・思いに気付かせるために
 - ・ 「お客様の声」コーナーの存在や、客からの要望への対応を示す資料を提示する。
 - ・ 「店舗内のパン専門店の調理パンが高い」という「お客様の声」カードとその商品を提示する。
 - ・ 「本当に高いかな？」と問うことで、価格設定について店側・消費者側から考える。
 - ・ 店側の回答を提示し、「価格の変更は難しいができることをひとつずつ、きちんとすることで客の満足度をあげようと努力していること」について、店長が語るVTRを提示する。

7. 本時の展開

□ : ねらい ■ : 手立て

主な学習活動と内容 (※教師の支援)					立ち止まりと子どもの姿																																							
<p>1. 本時のめあてを確かめる。</p> <p>めあて 総合スーパーマーケットについて調べたことを交流し、学習問題の答えを話し合おう。</p> <p>2. 前時までの学習を想起し、調べたことについて話し合う。</p> <p>○それぞれの視点について、近所のお店と総合スーパーマーケットの相違点(☆)を確かめ、総合スーパーマーケットの特色を確かめる。</p>					<p>○総合スーパーマーケットは、お母さんだけではなく、子どもやお父さん、みんながゆっくり、楽しく買い物ができる工夫がたくさんあることが分かったよ。</p>																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">視点</th> <th rowspan="2">店名</th> <th colspan="4">店の人の工夫や努力</th> </tr> <tr> <th>品質</th> <th>品ぞろえ</th> <th>価格</th> <th>買い物しやすさ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合スーパーマーケット</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンタイム ・PB商品 ・設備の工夫 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ☆食料品以外 ☆専門店 ☆PB商品 ☆様々な売り方 ・種類の多さ ・個々の数の多さ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・特売日 ・PB商品 ・ポイントカード </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・広告 ・陳列や表示 ・かごやカート ・カード支払い ☆ゲームコーナー ☆フードコート ・広い駐車場 </td> </tr> <tr> <td>スーパー</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の工夫 ・商品管理の徹底 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・種類の多さ ・個々の数の多さ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・特売日 ・ポイントカード </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・かごや買い物かご ・駐車場 </td> </tr> <tr> <td>個人店</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・獲れたてで新鮮 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・魚・海産物のみ ・旬のもの ・県産の新鮮なもの </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・おまけや割引 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・下調理 ・ほしい量だけ ・調理の仕方 </td> </tr> <tr> <td>コンビニ</td> <td></td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・限定品 ・種類の多さ </td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・陳列や表示 ・チケット・支払等 </td> </tr> </tbody> </table> <p>○家の人が買い物の際に大切にしている事と店の工夫を比較し、それぞれの店が消費者の願いに応えようとしている事に気付かせる。</p> <table border="1"> <tr> <td>家の人が大切にしていること</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮 ・安全 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 ・商品数 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・安さ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・広告 ・施設 </td> </tr> </table>						視点	店名	店の人の工夫や努力				品質	品ぞろえ	価格	買い物しやすさ	総合スーパーマーケット		<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンタイム ・PB商品 ・設備の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ☆食料品以外 ☆専門店 ☆PB商品 ☆様々な売り方 ・種類の多さ ・個々の数の多さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・特売日 ・PB商品 ・ポイントカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告 ・陳列や表示 ・かごやカート ・カード支払い ☆ゲームコーナー ☆フードコート ・広い駐車場 	スーパー		<ul style="list-style-type: none"> ・設備の工夫 ・商品管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・種類の多さ ・個々の数の多さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・特売日 ・ポイントカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・かごや買い物かご ・駐車場 	個人店		<ul style="list-style-type: none"> ・獲れたてで新鮮 	<ul style="list-style-type: none"> ・魚・海産物のみ ・旬のもの ・県産の新鮮なもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・おまけや割引 	<ul style="list-style-type: none"> ・下調理 ・ほしい量だけ ・調理の仕方 	コンビニ			<ul style="list-style-type: none"> ・限定品 ・種類の多さ 		<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・陳列や表示 ・チケット・支払等 	家の人が大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・新鮮 ・安全 	<ul style="list-style-type: none"> ・種類 ・商品数 	<ul style="list-style-type: none"> ・安さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告 ・施設
視点	店名	店の人の工夫や努力																																										
		品質	品ぞろえ	価格	買い物しやすさ																																							
総合スーパーマーケット		<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンタイム ・PB商品 ・設備の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ☆食料品以外 ☆専門店 ☆PB商品 ☆様々な売り方 ・種類の多さ ・個々の数の多さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・特売日 ・PB商品 ・ポイントカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告 ・陳列や表示 ・かごやカート ・カード支払い ☆ゲームコーナー ☆フードコート ・広い駐車場 																																							
スーパー		<ul style="list-style-type: none"> ・設備の工夫 ・商品管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・種類の多さ ・個々の数の多さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・特売日 ・ポイントカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・かごや買い物かご ・駐車場 																																							
個人店		<ul style="list-style-type: none"> ・獲れたてで新鮮 	<ul style="list-style-type: none"> ・魚・海産物のみ ・旬のもの ・県産の新鮮なもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・おまけや割引 	<ul style="list-style-type: none"> ・下調理 ・ほしい量だけ ・調理の仕方 																																							
コンビニ			<ul style="list-style-type: none"> ・限定品 ・種類の多さ 		<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・陳列や表示 ・チケット・支払等 																																							
家の人が大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・新鮮 ・安全 	<ul style="list-style-type: none"> ・種類 ・商品数 	<ul style="list-style-type: none"> ・安さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告 ・施設 																																								
<p>3. 「お客様の声」コーナーの資料から、客の願いに工夫して応えようとしていることについて考え、学習問題の答えをつくる。</p> <p>(1) 「お客様の声」コーナーに寄せられた「パン専門店の値段が高い」という客の声を紹介し、商品の値段と店の対応について考える。</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>高い (消費者の立場から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客の願いには応えるべきだ。 ・他の店はこんなに高くない。 </td> <td style="text-align: center;"> <p>対応</p> </td> <td> <p>高くない (店の立場から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうけがなくなるよ。 ・美味しいから仕方ないよ。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">● 値引き？割引？ ●</p> <p>(2) 「価格設定の理由」、「特売日の紹介」「他商品の紹介」という店側の対応について説明する店長のVTRから、客の願いに応えるために行けることを精一杯しようと工夫していることを知る。</p> <p>学習問題の答え 総合スーパーマーケットは、お客さんの声を取り入れる工夫をしたりして、いろいろなお客さんが満足できるよう工夫や努力をしているから、1日、1万人ものお客さんに来てもらえる。</p>					<p>高い (消費者の立場から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客の願いには応えるべきだ。 ・他の店はこんなに高くない。 	<p>対応</p>	<p>高くない (店の立場から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうけがなくなるよ。 ・美味しいから仕方ないよ。 	<p>見つける立ち止まり</p> <p>□客の願いに耳を傾け、応えようとする工夫や努力に気付かせるため。</p> <p>■店舗内のパン専門店の価格を高いとする「お客様の声」を提示し、パンの価格について考えさせ、さらに、「あなたならどうする」と問う。</p>																																				
<p>高い (消費者の立場から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客の願いには応えるべきだ。 ・他の店はこんなに高くない。 	<p>対応</p>	<p>高くない (店の立場から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうけがなくなるよ。 ・美味しいから仕方ないよ。 																																										
<p>4. 「今日の学習で」を書く。</p> <p>○消費者(家の人)が買い物をするときに大切にしていることと、いろいろな店で働く人の工夫や努力のつながりについて</p> <p>○総合スーパーマーケットで働く人が、「お客様の声」を大切にしていることについて</p>					<p>○総合スーパーマーケットでは、お客さんがどんなことを望んでいるのか知って、その願いに応えられるようお店の人みんなで、頑張っているんだね。</p> <p>○総合スーパーマーケットだけでなく、「お客様の声」は、スーパーマーケットにもあったよ。色々なお店は、お客さんが満足できるように努力しているんだね。</p>																																							

第3学年 本時指導案

「売れ残りの商品の対応から、店の考えを確かめる場面」(11/11時)

5. 本時目標

- 今までの学習や資料をもとに、売れ残った商品がどのような理由でどのように処理されるか考えることができる。(思考・判断)
- 無駄を出さない仕入れの工夫や食の安全性を考慮した商品処理についての努力を知ることができる。(知識・理解)

6. 本時学習にあたって

子どもたちはこれまで、「この総合スーパーマーケットは、どうして、1日に、およそ1万人のお客に来てもらえるのだろう」という学習問題に対して、それぞれの追究の視点から総合スーパーマーケットの工夫や努力を検証してきた。そこで、「お店の人は、たくさん来ているお客さんの、安い物やよい物を買いたいという願い等に応えようと工夫や努力している」ことに気付くことができた。

そこで、本時の「見極める」段階では、総合スーパーマーケットがいつも消費者に新鮮で安心して口にできる商品を提供しようとして、私たちの生活を支えていることに気付くことをねらっている。見分ける段階で気付いた商品の安全基準やクリーンタイムの活動だけでなく、閉店後も売れ残った生鮮商品を処分したり、状況に合わせて仕入れ数を変更したりして、いつも安全な商品を提供することで、私たちの生活を支えていることに気付くことをねらっている。

そのために、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- 売れ残り商品に視点を合わせ、問題意識をもたせるために
 - ・ 開店直後にたくさんの生鮮商品がそろえられている様子が分かる写真を提示し、総合スーパーマーケットの品ぞろえを再確認する。
 - ・ 「この商品が全部、売れてしまうのか」考えさせる。
 - ・ 閉店時に残った生鮮商品の様子を写真で提示する。
- 店側の処理の仕方やそこに込められた食の安全性を大事にしていることに気付かせるために
 - ・ 「毎日用意されているたくさんの商品が、売れ残ったら店の人はどうするのか」と問いかける。
 - ・ 予想を話し合わせたあとに、担当者がそれらのことについて説明したVTRを見せる。
 - ・ VTRの内容を整理し、自分の生活と結びつけて店側の処理の仕方や考えをどう思うか、自分の考えを話し合わせる。

VTRの内容

- ・ 消費期限に余裕があるものは、保冷庫で保存
- ・ 生ものは、廃棄処分(専用の袋に入れ、専用業者に)
理由 少しでも安全性に問題が出そうな商品は絶対に出さない
店の信用にかかわる
- ・ 廃棄後は、肥料として再利用

<p>主な学習活動と内容 (※教師の支援)</p>	<p>立ち止まりと子どもの姿</p>
<p>1. めあてをつかみ、提示された問題に関する自分の考えをもつ。</p> <p>(ア) 売り場にたくさんの商品が陳列されている写真を提示し、すべて売れるのか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売れ残ることはない→売り切る・割引をして売る ・残る →捨てる・残ったらお店の人が持って帰る <p>(イ) 閉店後の写真を提示し、やはり売れ残りがあることを示し、めあてをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて 毎日用意されているたくさんの商品は、売れ残ったらどうなるのか、話し合おう。</p> </div> <p>2. めあてについて話し合う。</p> <p>(1) 売れ残った商品をどうするか、自分の予想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の日、割引をして売る ・捨てる ・店の人が持って帰る <p>(2) 店の人のVTRを視聴する。</p> <p>※どのように売れ残りの商品が扱われるのか、なぜそうするのかを解説したビデオを見せる。</p> <p>※後でまとめやすいように、簡単にメモを取らせる。</p> <p>(3) わかったこと、自分が考えたことをプリントにまとめ、発表する。</p> <p>※自分が考えたこともあわせて書かせることで考えを深めさせる。</p> <p>※発表の内容を、板書にまとめる。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <pre> graph LR A[割引] --> B[売れ残り] B --> C[廃棄] C --> D[えさ] C --> E[たい肥] C --> F[ゴミ] </pre> <p>閉店前 閉店後</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>安心して商品を買うことができるように、 また無駄も減らそうとするお店の人の工夫や努力</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>売れ残った商品は、安全のために廃棄される。廃棄された食品は、家畜のえさになったりたい肥にされたりしてリサイクルされることもある。また、お店の人は売れ残りが多くなならないように曜日や天気なども見ながら作る量を考えたり、売れ残りそうときには値引きをしたりしている。お店の人は私たちが安心して買うことのできる商品を売って、私たちの生活を支えてくれている。</p> </div> <p>4. 「今日の学習で」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売れ残った商品はどのように処理されるのか、なぜそのように処理されるのか、お店の人が消費者に安心・安全な商品を提供するために工夫したり努力したりしていることに気付いて書く。 	<p>立ち止まりと子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売れ残らないようにどうにかして売らと思う。 ○もったいないから、お店の人が持って帰らと思う。 ○食中毒になったら危ないし、買ってもらえなくなるから、もったいないけど捨てると思う。 ○新鮮な商品を買ってほしいから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>見きわめる立ち止まり</p> <p>□消費者に、安全で安心できる商品を提供していることに気付かせるため</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>■売れ残った商品がどのように取り扱われるのか、なぜそのようにするのかを説明するビデオを視聴させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○売れ残りがないように作る数を予想して調整したり、割引をしたりして売れ残りが少なくなるようにしているんだね。 ○時間を過ぎた商品は廃棄しているから、安心して食べることができるんだね。 ○廃棄された商品をたい肥したり家畜のえさにしたりしている。ゴミがなるべく出ないように努力しているんだね。 ○安心して買い物ができるように、廃棄される量が少なくなるように、お店の人は工夫しているんだね。